まちかどトピックス

わが街の歴史に触れるまちあるき

2日間にわたり「室蘭まちあるき『石碑から見る室蘭』、『水でめぐる蘭西』」が行われ、それぞれ違う視点で室蘭の歴史を紹介した。初日は、水族館内にあるプロビデンス号来航記念碑や中島町の輪西屯田兵記念碑、入江公園内のケプロン顕彰碑など7石碑を回った。

2日目は、海岸町にある室蘭初の酒造である遠藤彌吉住居跡や今でも建物に金港ビルと表示がある旧金港食品など、5カ所の水に関する場所を巡った。参加者は、市職員の説明を熱心に聞き入れ、自らの知識の確認と新たな発見に満足そうだった。（10月1日・2日）

将来の室蘭の環境は

「室蘭市地球温暖化対策実行計画」策定に向けた中学生検討メンバーによる第3回目のワークショップが、ＦＫホールディングス生涯学習センターきらんで開催された。この日は、過去２回で学んだ課題を踏まえ解決策などを市長に提言する回で、公募により選ばれた中学生の他、市民も一緒にワークショップに参加し政策の実現性などを話し合った。ワークショップ終了後は、グループごとに提言内容を発表し、提言書を市長代理の白熊良平副市長に手渡した。参加した中学生たちは真剣な表情で話し合い、将来の室蘭の姿を思い描いていた。（9月26日）

秋晴れの下に家族の歓声が響く！

「市民大運動会むろらんピック」が3年ぶりに入江運動公園陸上競技場で開催された。ラジオ体操でウオーミングアップした後、運命走や徒競走、力自慢のお父さん、お母さんが一本の棒を引き合う競技など、さまざまな種目が行われた。真剣に競技に挑む家族に熱い声援が飛び交い、珍プレーが起こると競技場は笑顔であふれていた。（9月25日）